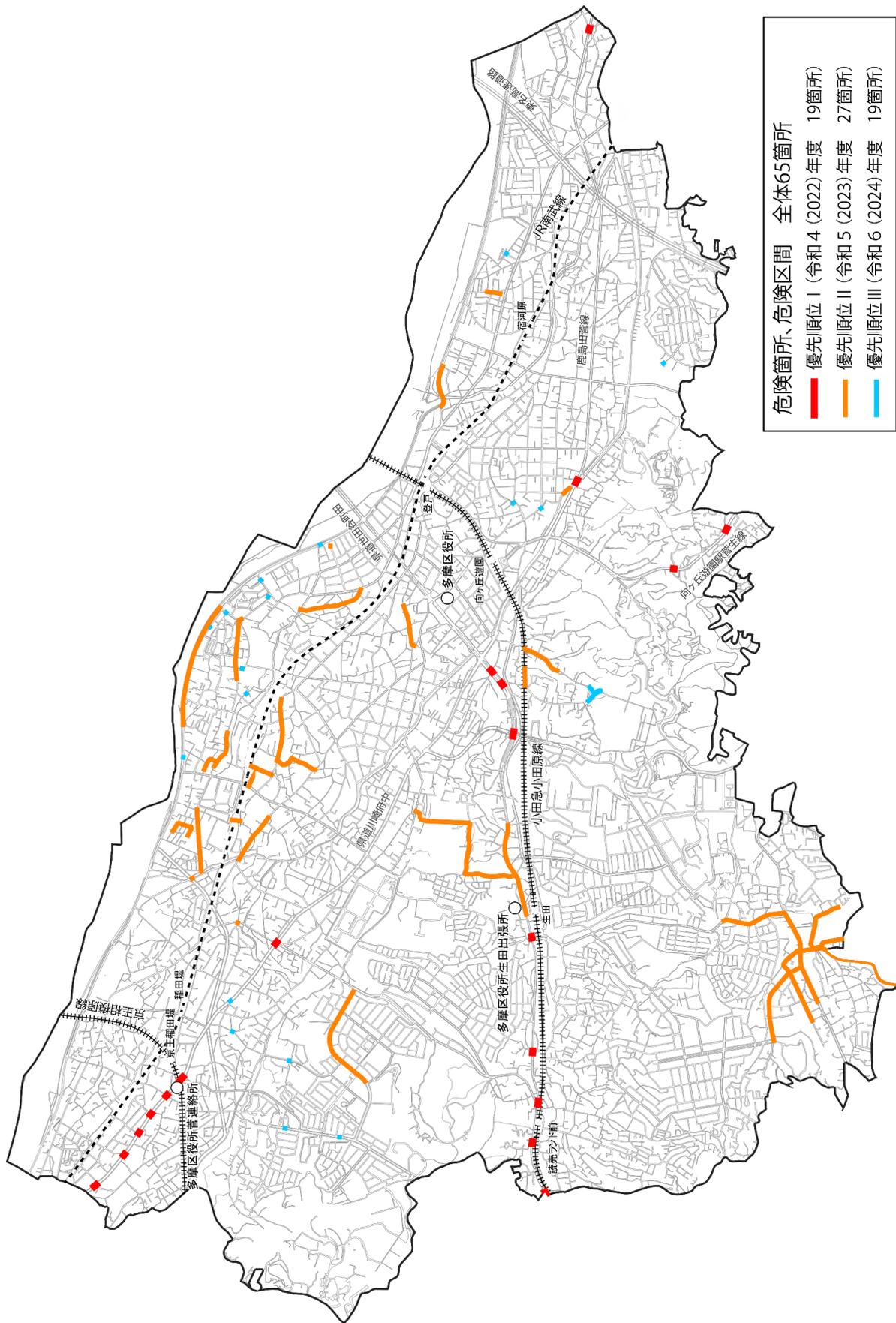
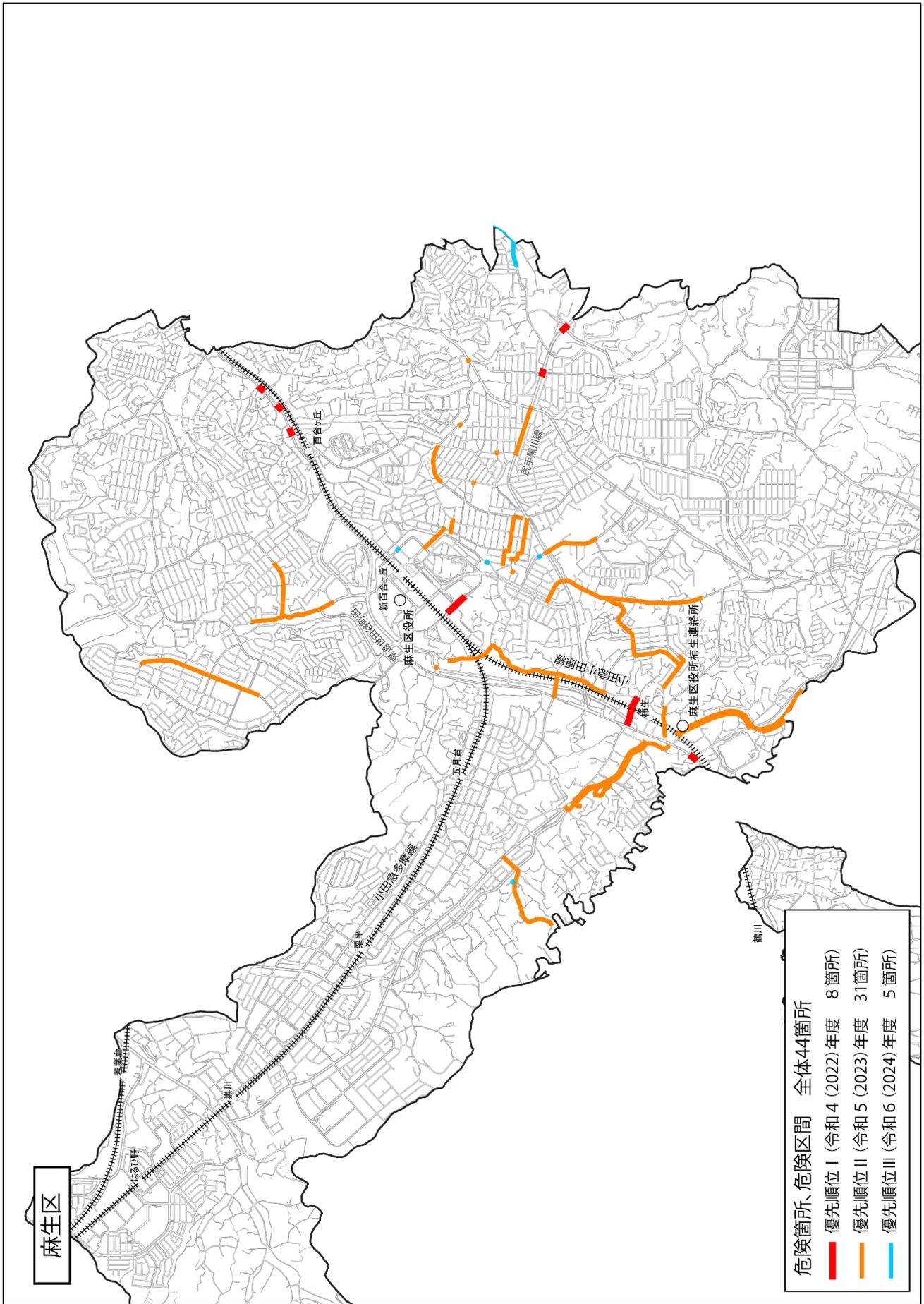


多摩区





(2) 自転車利用の多い駅周辺における通行環境整備（施策 1-1-2）

ア 考え方

- 自転車利用の多い駅周辺について、自転車の利用状況や輻輳の度合いなどから整備路線を選定し、通行環境整備を推進しています。
- 自転車利用の多い駅周辺としては、次の 15 駅 13 区域を計画対象区域とし、自転車利用者数や自転車関連事故件数等を基に優先順位を設定して、優先度の高い区域ごとに通行環境整備を進めており、登戸・向ヶ丘遊園駅、溝の口駅、殿町地区周辺については、令和 3（2021）年度末までの完了を予定しています。

【計画対象区域】

種別	鉄道駅
広域拠点の駅	川崎、武蔵小杉、新百合ヶ丘駅周辺
地域生活拠点の駅	武蔵溝ノ口、新川崎・鹿島田、登戸・向ヶ丘遊園、鷺沼・宮前平駅周辺
身近な駅	武蔵中原、武蔵新城、元住吉、中野島、柿生駅周辺
国際戦略拠点	川崎区殿町地区周辺

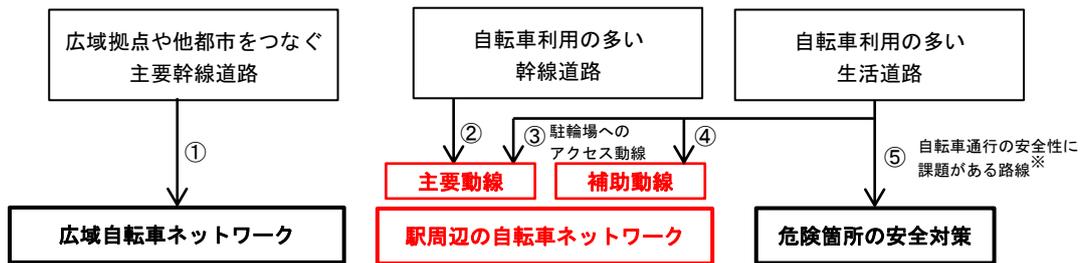
- 駅周辺における自転車等の輻輳による危険を低減するため、当初計画において選定している整備路線の精査を行うとともに、次のとおり路線ごとの優先度を設定し、一層の効率的・効果的な通行環境整備を推進します。
 - 自転車等の交通量が多い幹線道路を「主要動線^{※1}」として位置付け、優先的に整備を行います。
 - 主要動線につながる比較的自転車通行の多い路線を「補助動線^{※2}」として位置付け、各駅の優先順位に応じて順次整備を行います。

※1 「主要動線」とは、自転車利用の多い幹線道路及び駐輪場に向かう主要なアクセス動線のことをいいます。

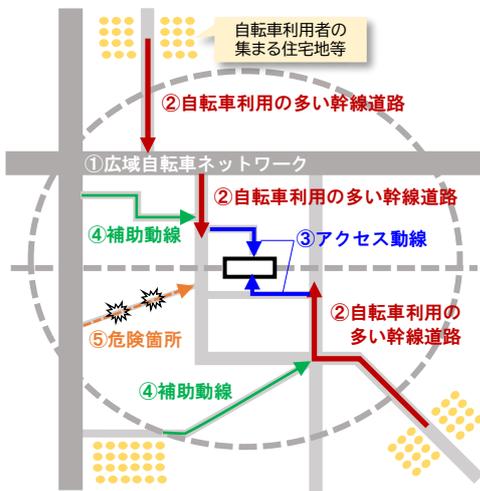
※2 「補助動線」とは、自転車利用の多い生活道路のことをいいます。

イ 整備路線の選定

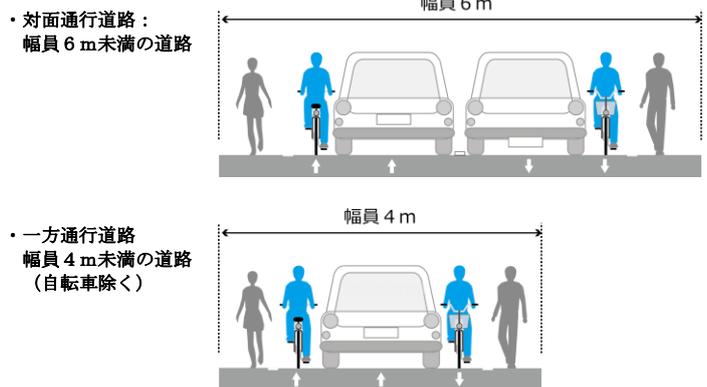
- 主要動線及び補助動線の選定についての考え方は、次のとおりです。



- | | | |
|-------------------------|---|---------------|
| ① 広域拠点や他都市をつなぐ主要幹線道路 | → | 【広域自転車ネットワーク】 |
| ② 自転車利用の多い幹線道路 | → | 【主要動線】 |
| ③ ①や②から駐輪場に向かう主要なアクセス動線 | | 【補助動線】 |
| ④ 自転車利用の多い生活道路 | → | 【危険箇所】 |
| ⑤ 自転車通行の安全性に課題がある路線※ | → | |



※自転車通行の安全性に課題がある路線とは、自転車通行が多い生活道路のうち、次の幅員より狭く、自転車等の安全な通行に支障がある路線のことをいいます。



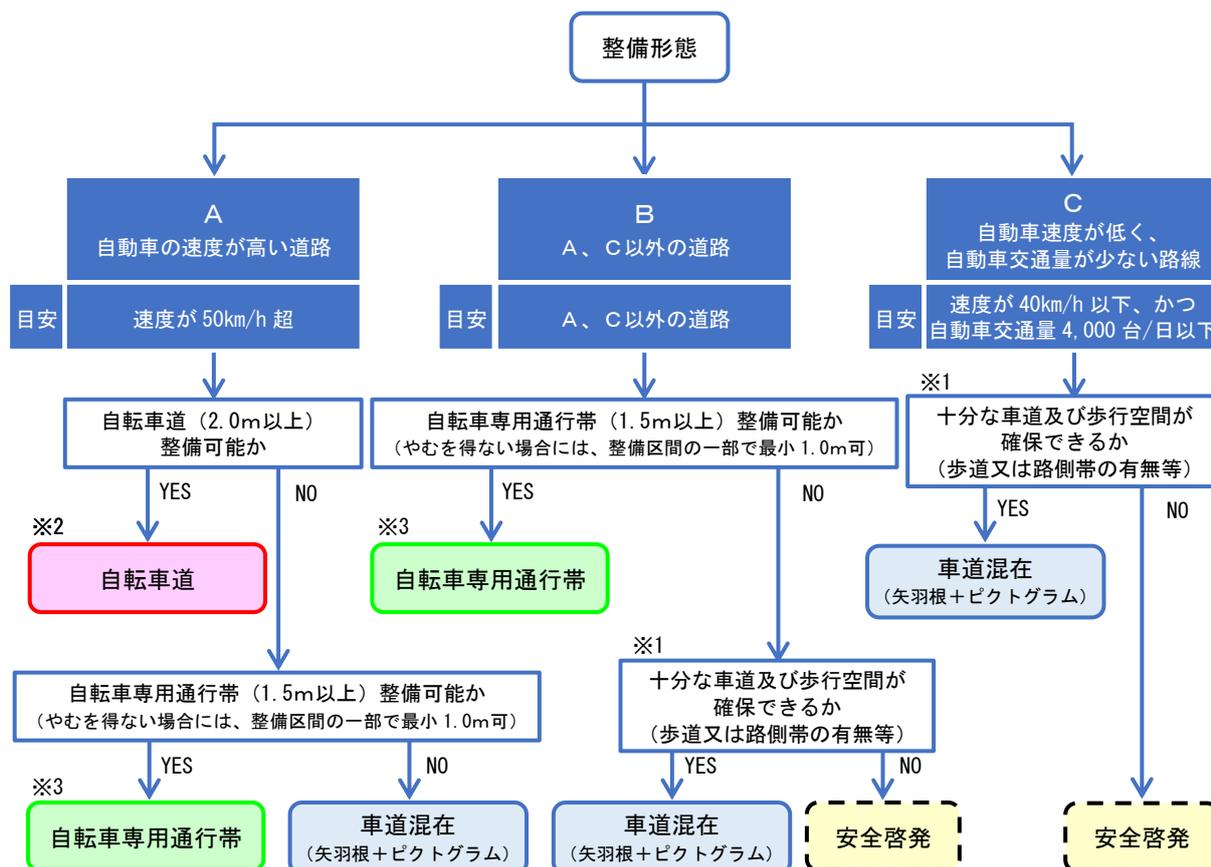
- 区域の優先順位については、自転車利用者数や自転車関連事故件数、駅乗降客数等を考慮の上、設定します。

→ 主要動線
→ 補助動線

優先順位	区域名	概算整備延長(km)			R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8(2026)以降
		主要動線	補助動線	合計					
1	川崎	7.1	5.5	12.6	→	→			
2	武蔵小杉	0.9	8.0	8.9	→	→			
	小計	8.0	13.5	21.5					
3	新川崎・鹿島田	1.2	4.6	5.8	→	→	→		
4	武蔵新城	3.2	10.0	13.2	→	→	→		
5	元住吉	1.0	8.1	9.1	→	→	→		
	小計	5.4	22.7	28.1					
6	新百合ヶ丘	2.4	5.8	8.2	→	→			→
7	武蔵中原	1.6	7.8	9.4	→	→			→
8	鷺沼・宮前平	2.1	7.2	9.3	→	→			→
9	中野島	1.2	6.1	7.3	→	→			→
10	柿生	1.7	3.4	5.1	→	→			→
	小計	9.0	30.3	39.3					
	合計	22.4	66.5	88.9					

ウ 整備形態

- 整備にあたっては、自転車は車両であり、車道の左側通行が原則であることから、p20 に記載の 4 つの整備形態（自転車道、自転車専用通行帯、車道混在、安全啓発）について、交通量や道路幅員など地域の実情を考慮し、次のフローを参考に、交通管理者との協議の上、整備形態を決定します。



※1 歩行者や自転車の通行位置を明確にするため、十分な幅員が確保されているか（歩道又は路側帯の有無等）を確認した上で、確保可能な場合に自転車通行環境整備を実施するものとします。

【路側帯設置の目安】

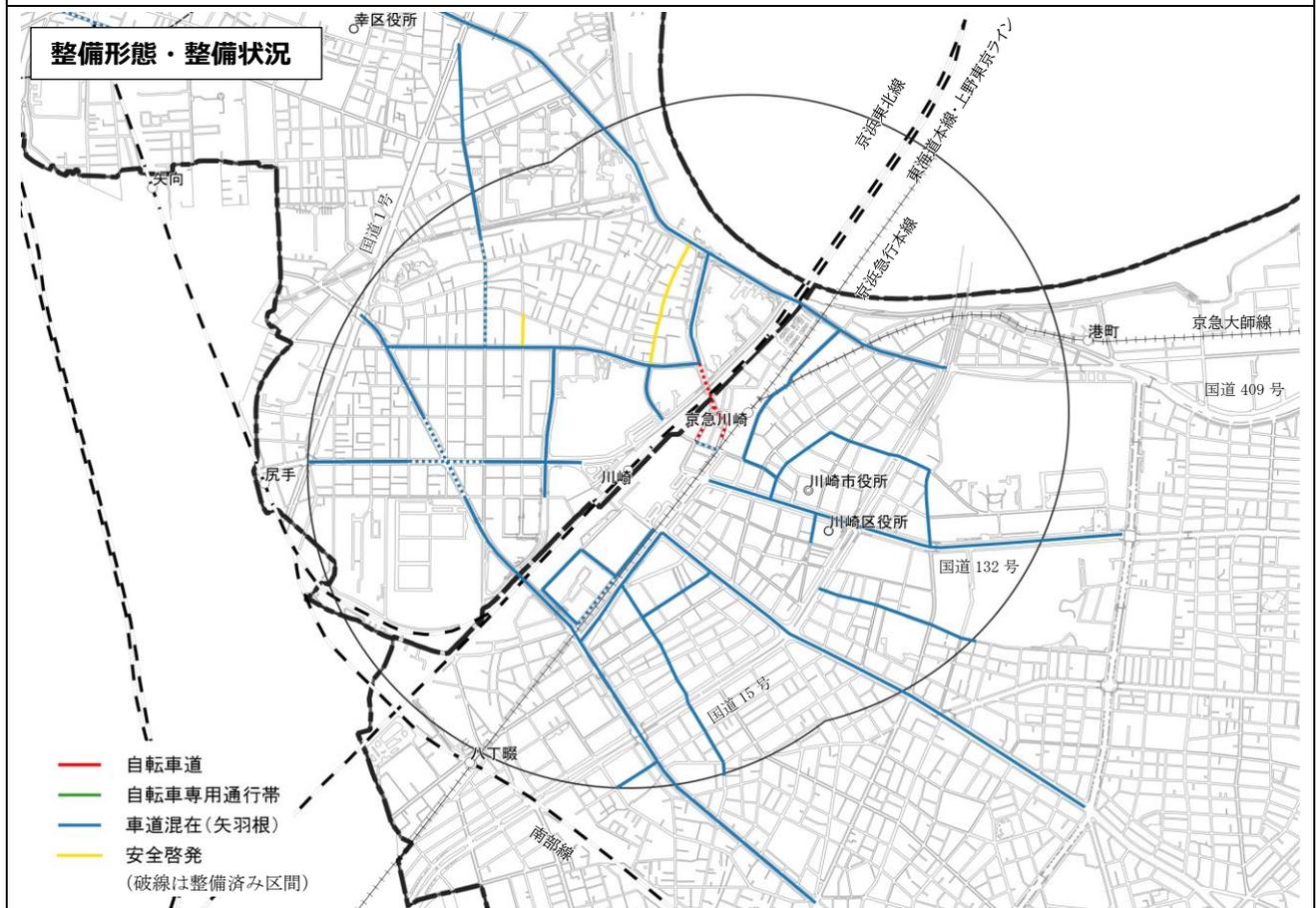
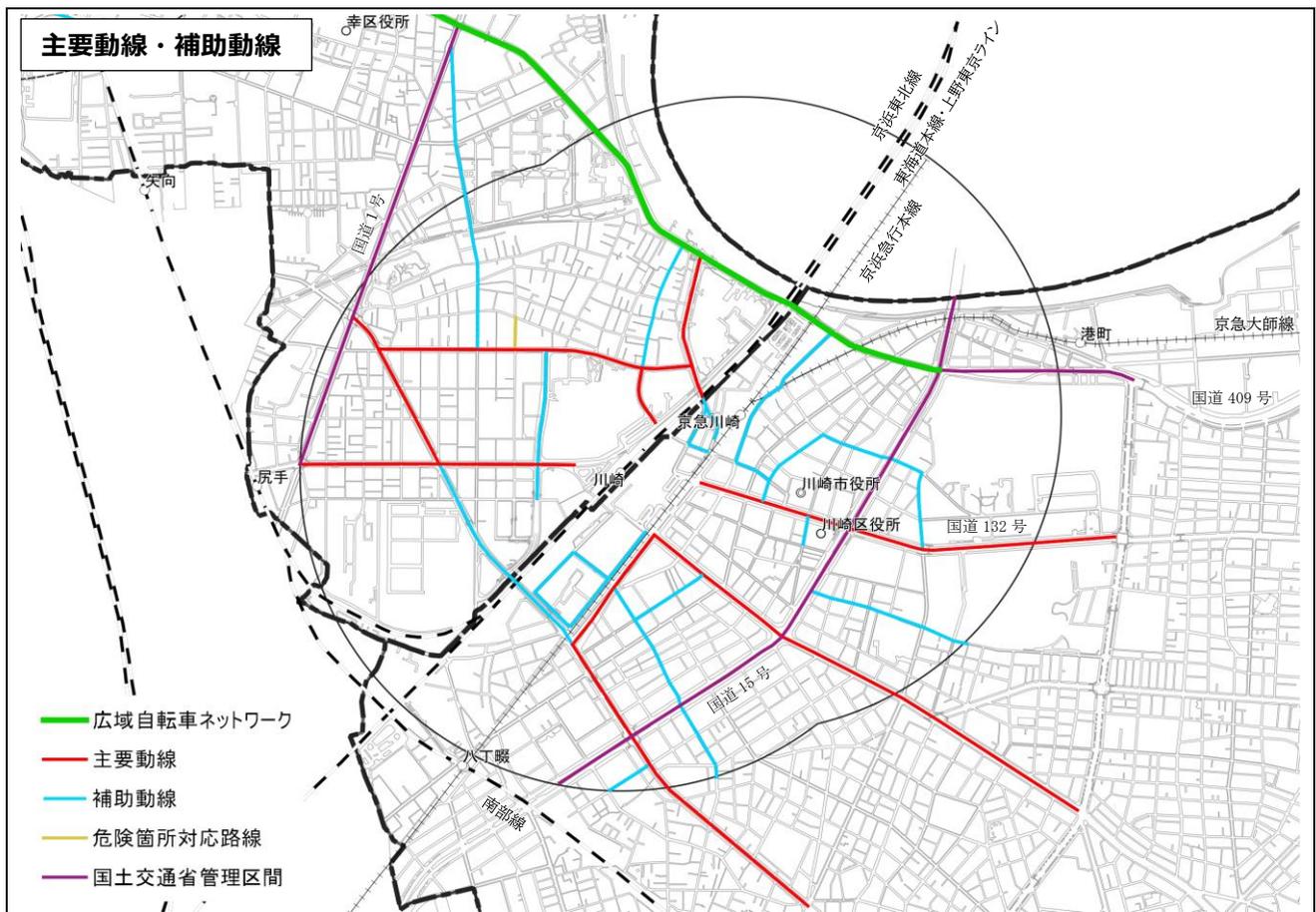
対面通行道路：幅員 6.5m 以上
一方通行道路：幅員 4.5m 以上※4

※2 自転車道は、一方通行を基本とします。

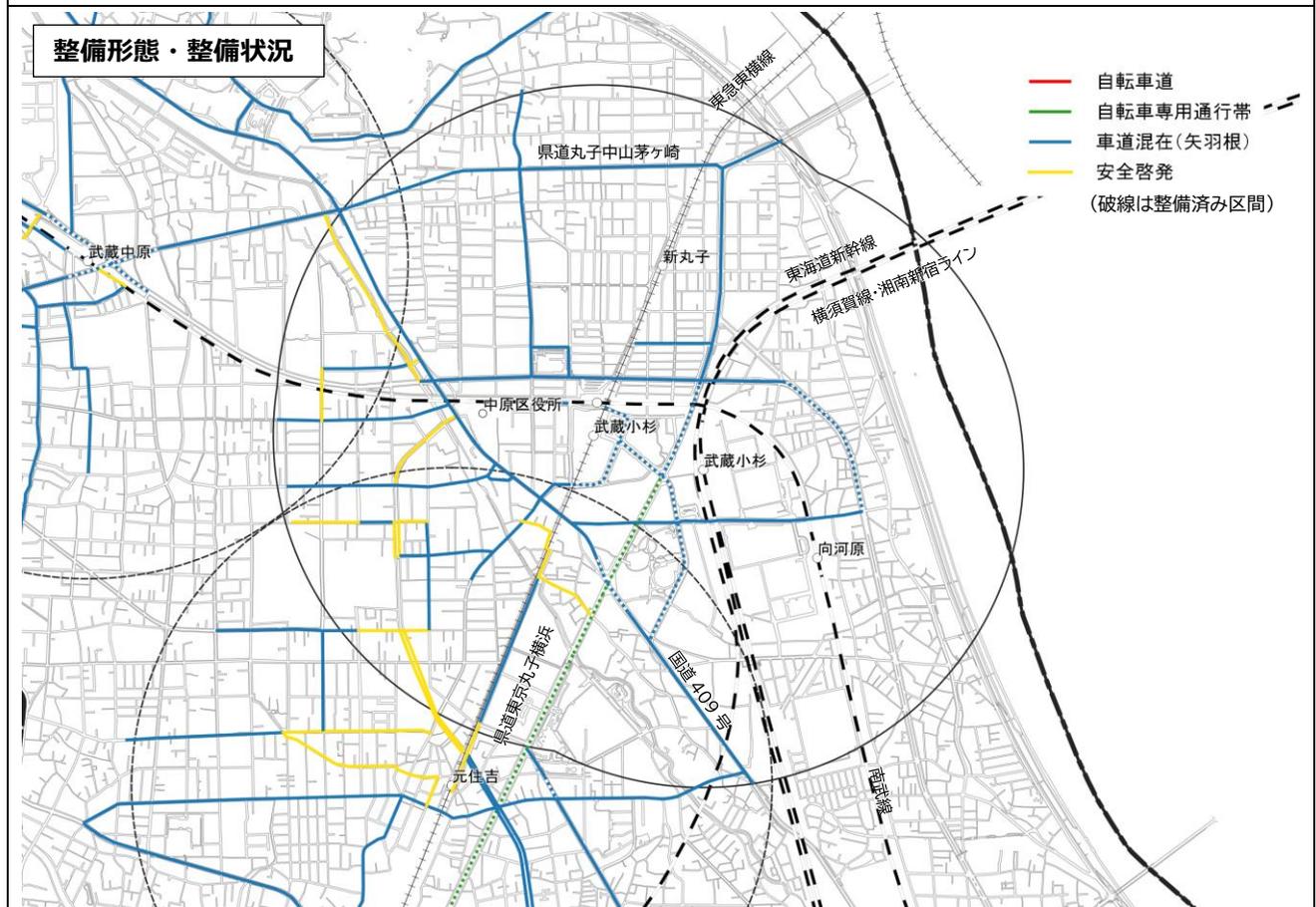
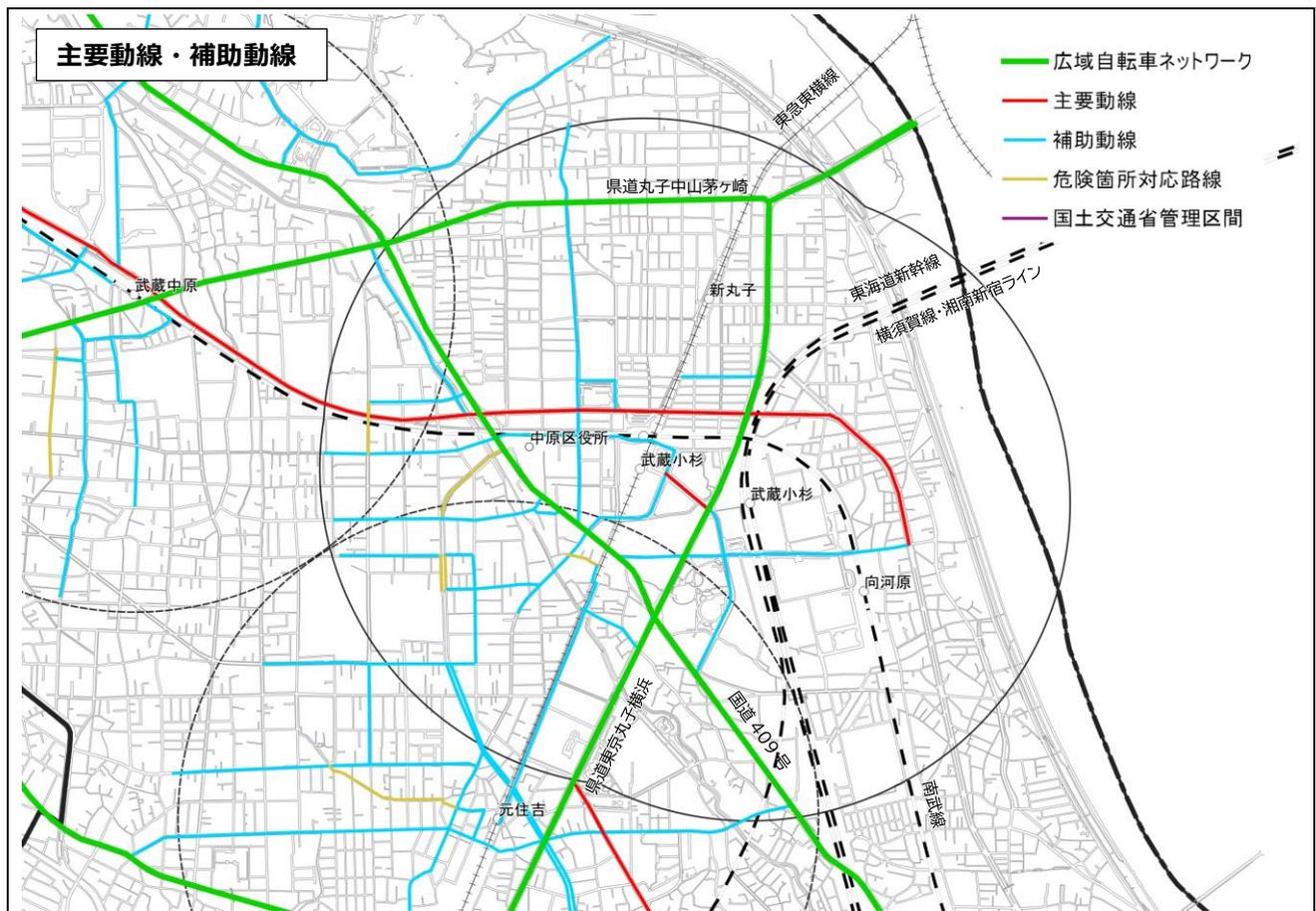
※3 自転車専用通行帯は、道路交通法第 20 条第 2 項の規定に基づく普通自転車専用通行帯として、同法第 4 条第 1 項の規定に基づく県公安委員会による交通規制の実施を想定しているが、やむを得ない事情により、交通規制が併せて実施されないこととなった場合、当面、自転車専用通行帯を設けるための道路空間に、矢羽根等を設置することにより、自転車の通行位置を示すことを基本とします。

※4 補助標識「自転車除く」が設置されていない一方通行道路においては、「自転車除く」に交通規制の変更を検討した上で、両側に自転車通行環境整備を実施するものとします。

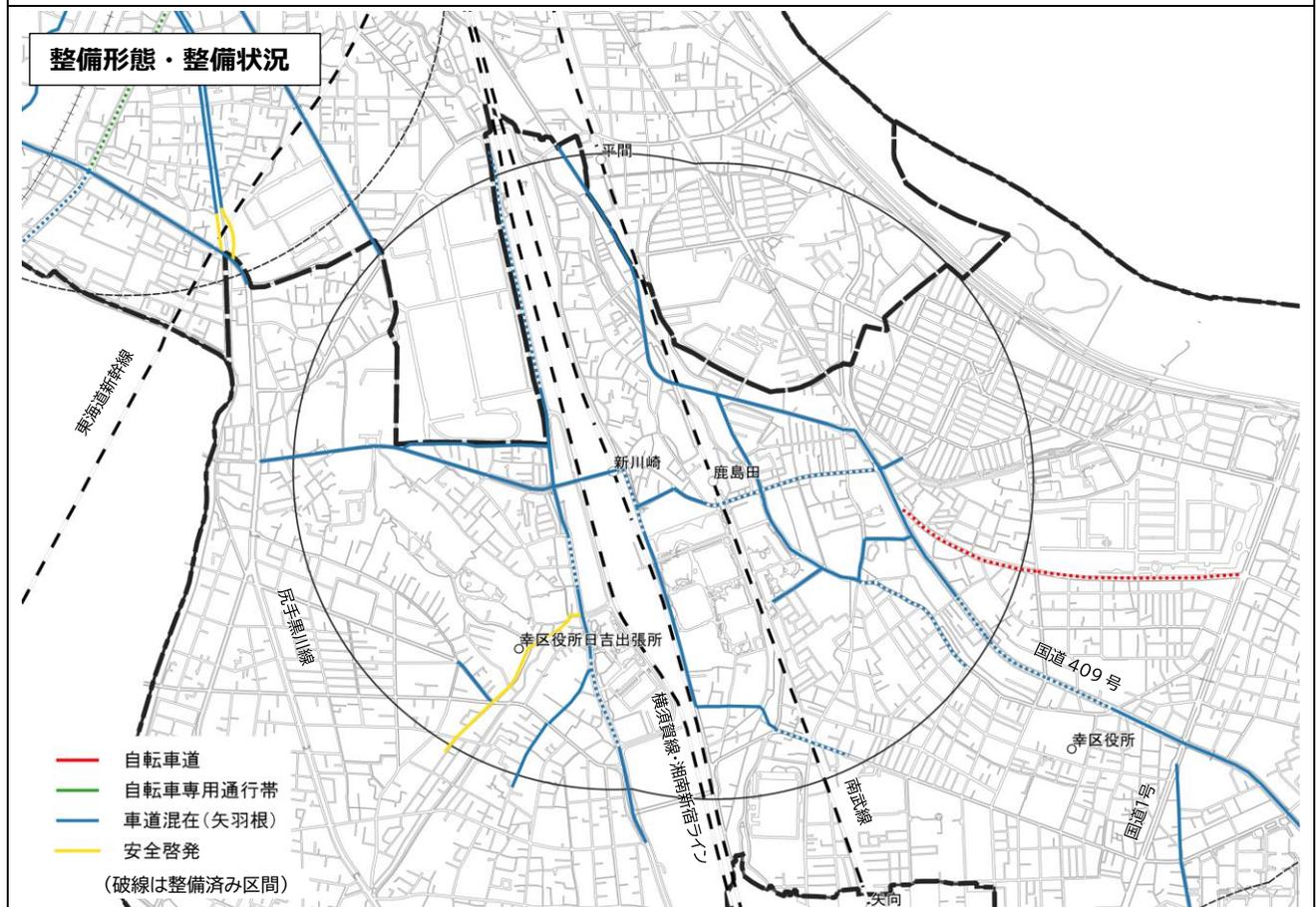
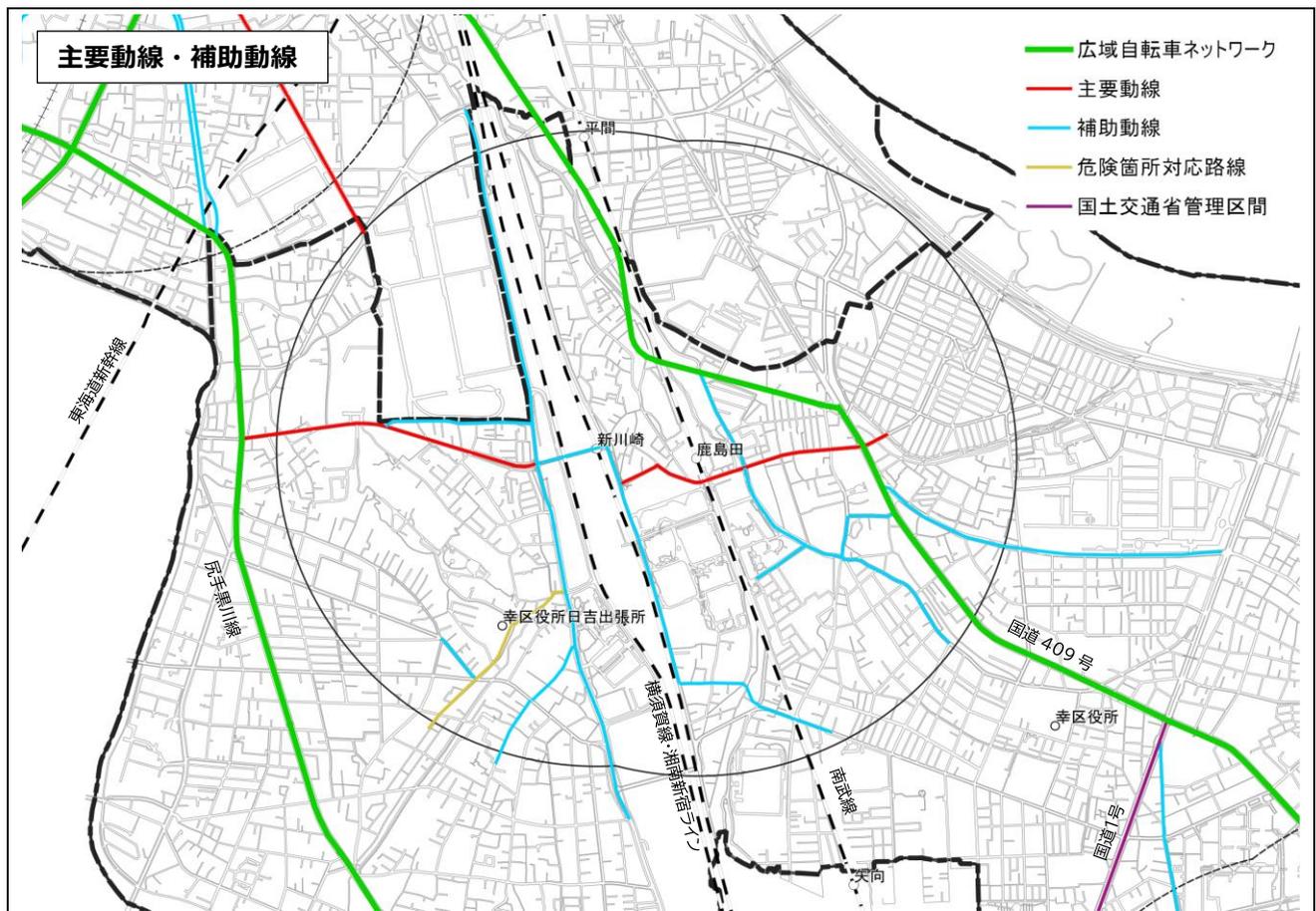
優先1 川崎駅



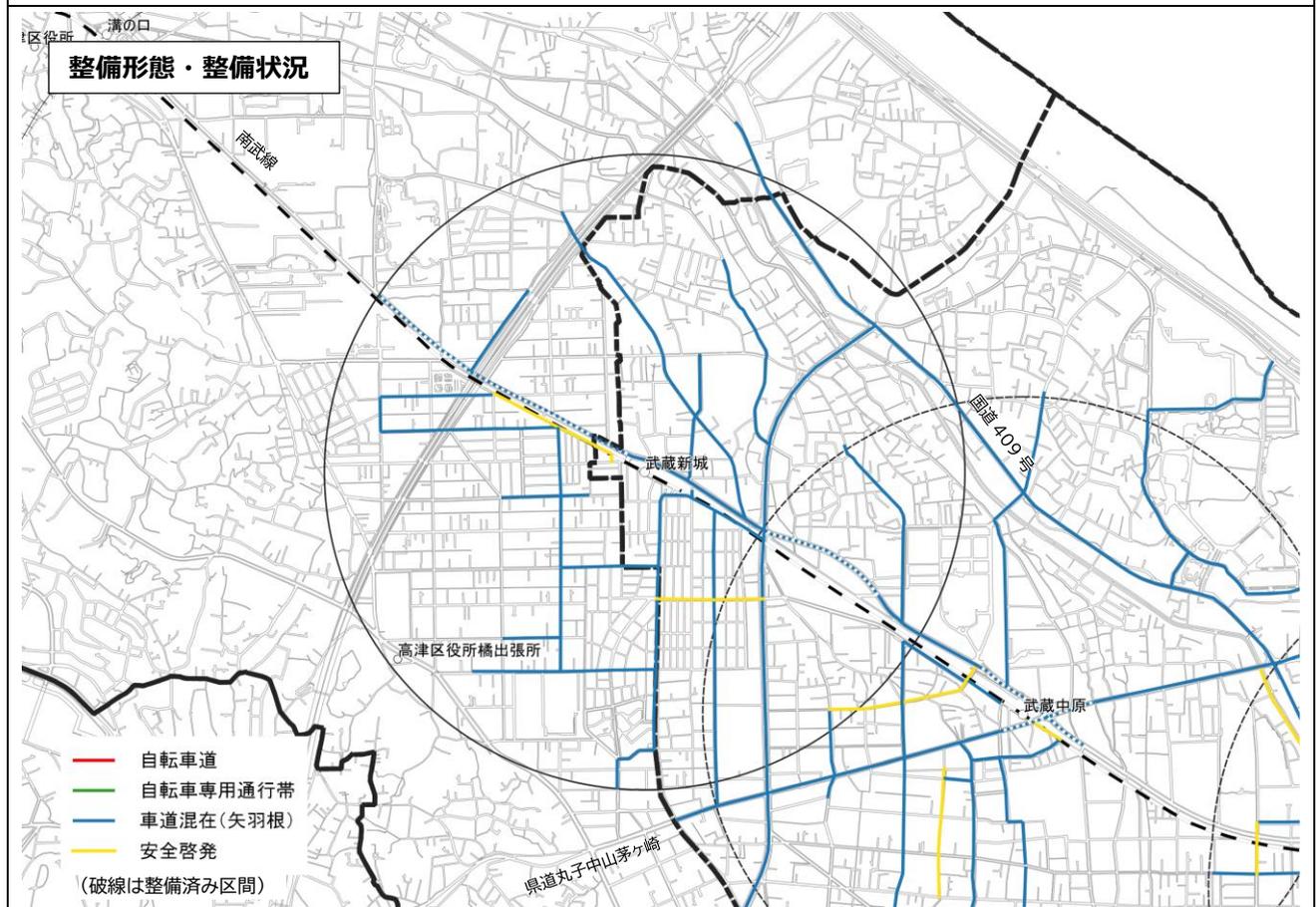
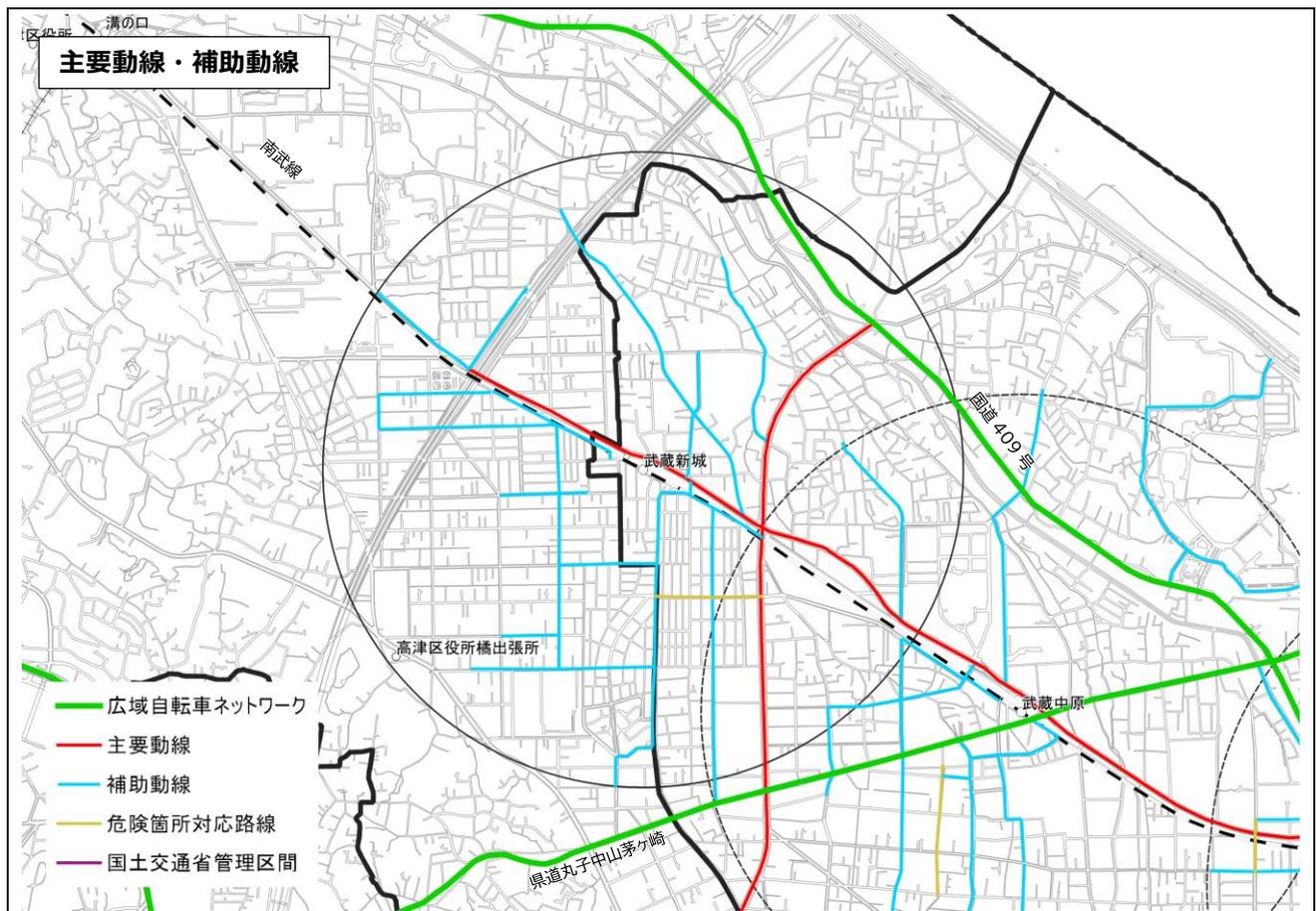
優先2 武蔵小杉駅



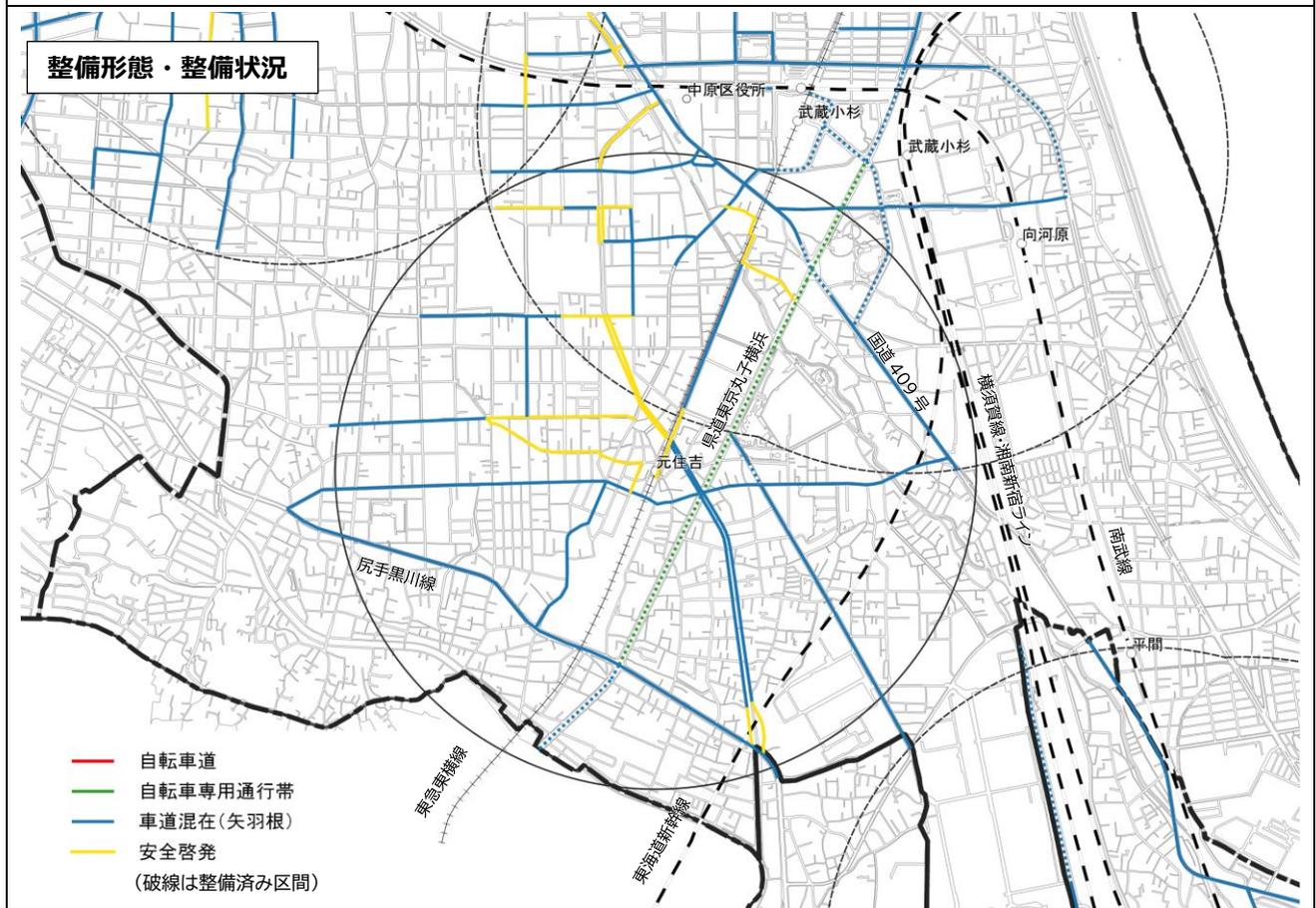
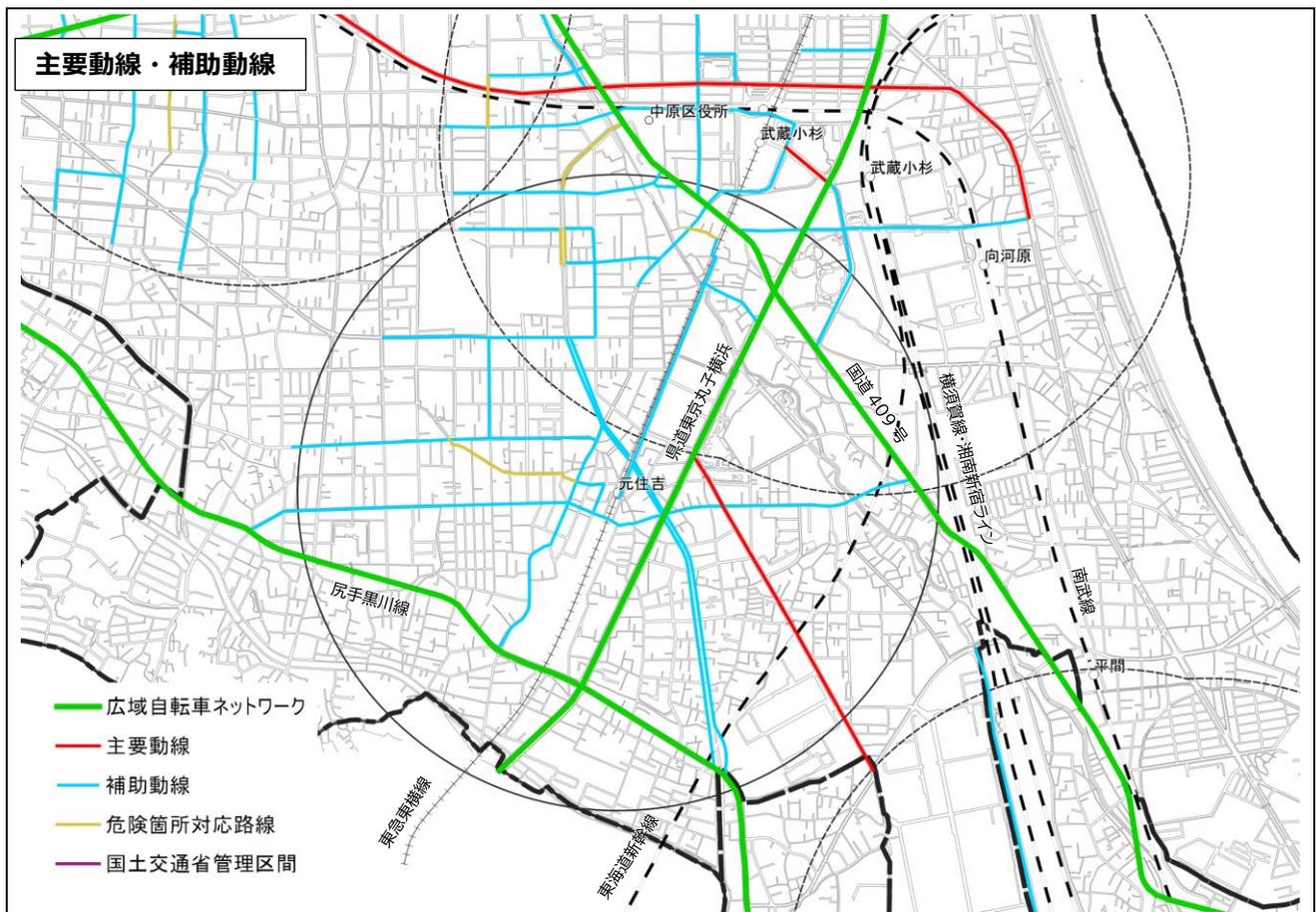
優先3 新川崎・鹿島田



優先4 武蔵新城



優先5 元住吉



優先6 新百合ヶ丘

